

大和郡山御朱印マップ

令和二年版



楽しく寺社参拝していただくために

大和郡山歴史同好会

楽しく寺社参拝していただくために 新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください。

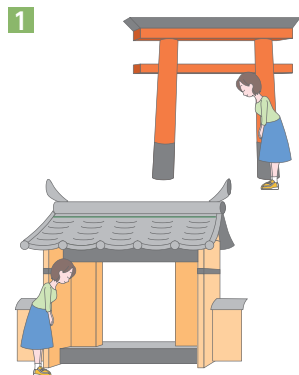
※また、状況により御朱印が休止になっている場合があります。

御朱印とは

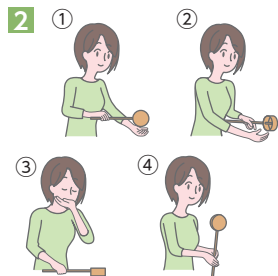
御朱印とは、お寺の本尊、神社の名前などを揮毫し朱印を押したもので、寺社にお参りし拝礼した証といえるものです。決して観光記念のスタンプやアート作品ではなく、いただくこと自体が宗教行為なので、参拝のマナーを守り、また、いただいた御朱印は大切に保管しましょう。



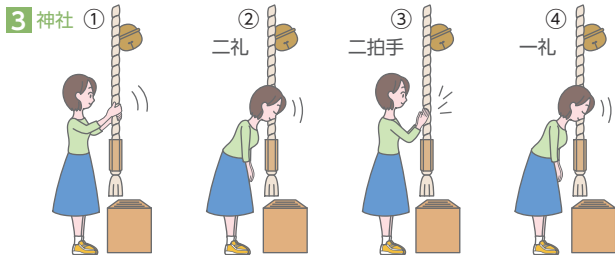
参拝のしかた



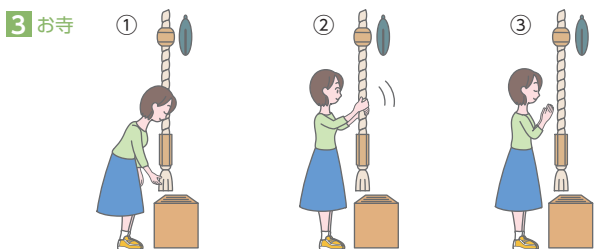
神社の鳥居、お寺の山門は、俗世と聖地を分ける結界を意味しています。鳥居や山門をくぐった境内では騒いだりせず、神仏への敬意を表しましょう。



手水舎がある時は、参拝の前に心身を清めます。柄杓に水をすくい ①まず左手 ②次に右手を清めます。③もう一度左手に水に移して口をすすぎ ④最後に柄杓の柄を清めます。



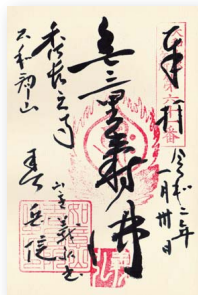
①お賽銭を静かに納め優しく鈴を鳴らし ②二礼 ③二拍手し ④最後にもういちど一礼します。



①お賽銭を静かに納め ②優しく鯛口を鳴らし ③両手をあわせて合掌します。

御朱印のいただき方

- 御朱印は、いつでもいただけるものではなく、概ね午前10時～正午、午後1時～午後4時の間にお願いしましょう。
 - 宗旨や様々な理由から御朱印の無いお寺や神社があります。(例えば浄土真宗のお寺は、基本的に御朱印がありません)
 - 御朱印代は概ね300円です。お釣りがないように小銭を用意しておくスマートです。
 - 書き置き式の御朱印や墨版式の御朱印もあります。また、墨書の文字に対して好き嫌いを言ったりしてはいけません。
 - 法事・神事等の都合で参拝や御朱印ができない時があります。
- ※拝観料・入山料が記載されていないお寺は、通常堂内を拝観できません。



しゅんがくいん
1 春岳院 大和郡山市新中町2

境内拝観自由 本堂拝観料志納 時間9:00~17:00
本堂拝観・御朱印希望の時は電話にて予約のこと

大和・紀伊・和泉の百万石の領主として郡山城と城下町を建設した豊臣秀長の菩提寺です。堂内には秀長の位牌や肖像画、「禁制」等の箱本制度史料が伝わります。また郡山城跡西南にある大納言塚(秀長墓所)では郡山繁栄の基礎を築いた秀長の遺徳を偲び、毎年4月22日に大納言祭が行われます。



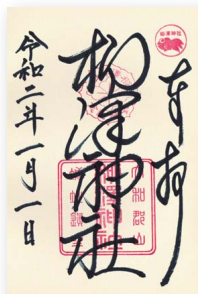
豊臣秀長肖像



やなぎさわじんじや
2 柳澤神社 大和郡山市城内町2-18

境内拝観自由

江戸時代中期の享保9年(1724)柳澤吉里が甲府から国替により入部して以来、郡山は明治維新まで140年あまり柳澤家のもとで安定した藩政が行われました。郡山城本丸跡にある柳澤神社は、吉里の父で五代将軍徳川綱吉の側用人として江戸幕府中枢で活躍した柳澤吉保公を祭神としてお祀りしています。



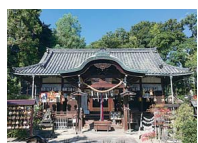
えいけいじ
3 永慶寺 大和郡山市永慶寺町5-76

境内拝観自由

宝永7年(1710)甲府藩主だった柳澤吉保により甲斐国(山梨県甲府市)に建立された柳澤家の菩提寺で、黄檗宗のお寺です。子の柳澤吉里の国替えに伴い甲府から郡山に移されました。山門は郡山城南門を移築したものと伝えられ、唯一残る郡山城の建物です。



山門



こおりやまはちまんじんじや
4 郡山八幡神社 大和郡山市柳4丁目25

境内拝観自由

古くからの郡山の鎮守神で、かつては郡山城西方の丘陵上にありましたが、郡山城築城に伴い現在の柳4丁目に遷座し、以後郡山城を鎮護する八幡宮として歴代城主の尊崇を受けてきました。また近年は、野球少年が必勝祈願に訪れる「クラブ神社」としても有名です。



大和郡山の御朱印ガイド

- 通年でいただける (書き置き式の時もあり)
- 電話で予約すればいただける
- 決まった日時だけいただける
- 近所の商家が御朱印を預かっている

※法事・神事等の都合で参拝や御朱印ができない時があります

箱本十三町は、全て「りょうがわちょう両側町」になっています。両側町とは通りをはさんだ両側の土地を単位とする町組で、商工業者の活動に都合の良い室町時代に現れた町割です。

郡山城下町



大和郡山のお寺や神社には、駐車場が無いことが多く、また、道幅が狭く自動車の通行が非常に困難な道路もあります。楽しく寺社参拝していただくために、徒歩、自転車、公共交通の利用をお勧めします。



垢かき湯船

とうせんじ 5 洞泉寺 奈良県大和郡山市洞泉寺町15-1

本堂拝観料300円 時間10:00~16:00
本堂拝観・御朱印希望の時は電話にて予約のこと

大和郡山の洞泉寺は、豊臣秀長が建立した寺で寺号は三河拳母郡(愛知県豊田市)の洞泉寺から移されました。御本尊は鎌倉時代の快慶作と伝わる阿弥陀三尊立像です。境内には光明皇后が民衆の病氣平癒のために作せたと伝わる「垢かき湯船」と「垢かき地蔵」があります。





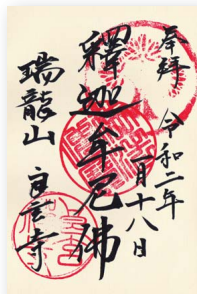
りょうげんぜんじ
9 良玄禅寺 大和郡山市茶町11

境内拝観自由 御朱印を希望する時は電話で予約をしてください。
 住職の不在時など書き置き式になることもあります。

江戸時代初期、本多政勝(第1次本多家)が郡山への国替に伴い上総国(千葉県)にあった本多家菩提寺をこの地に移させた臨済宗のお寺です。境内には本多政勝の墓所のほか、芭蕉の「時雨塚」、また郡山弁財天が祀りされています。本堂が郡山城と対面する形の「西向き」なのも特徴です。



伝 本多政勝墓所



しゃくそんじ
8 釋尊寺 大和郡山市高田町474-1

境内拝観自由 御朱印希望の時は50m南のヘアーサロン吉田まで
 概ね8:00~19:00、日曜・月曜休み、接客中は対応できません

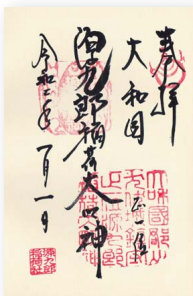
現在は地元の高田口町自治会が護持管理する小さなお寺ですが、「続日本記」に記述がある高田寺(聖武天皇開基、行基開山)が前身ではないかとする説もあります。平成29年には自治会の方々の尽力でお堂を新築再建。御朱印は、すぐ近所にある床屋さんがお預かりしています。



やくおんはちまんじんじや
7 薬園八幡神社 大和郡山市材木町32

境内拝観自由

奈良時代749年、東大寺の大仏造頭を守護するため迎えられた宇佐の八幡大神(大分県)が、平城京羅城門近くの薬園庄で休まれたとき勧請されたのが薬園八幡神社と伝えられます。地元では「やこうさん」と呼び親しまれ、城下町の古社として厚く信仰を集めています。



げんくろういなりじんじや
6 源九郎稻荷神社 大和郡山市洞泉寺町15

境内拝観自由

歌舞伎・文楽に登場する「源九郎狐」を祀る神社です。源義経が兄頼朝の討手から吉野に逃避した時、白狐が家臣に化けて義経と静御前を守ってくれたことに感謝し、自身の名「源九郎」を贈ったと言われます。その後、豊臣秀長が郡山城の守護神と定め、以降歴代藩主にも崇敬されてきました。





とうみょうじ
10 東明寺 大和郡山市矢田町2230

境内拝観自由 本堂拝観料500円 時間9:00~17:00
本堂拝観・御朱印希望の時は電話にて予約のこと
毎年6/1~6/15は予約なしで拝観可能

自然豊かな矢田丘陵の細い山道を登って到着します。山中の静かなお寺ですが、飛鳥時代 舎人親王(天武天皇皇子)が母君持統天皇の眼病平癒のため建立した歴史を持ちます。境内には平安時代に作られた薬師如来坐像、毘沙門天立像、吉祥天立像など多くの仏像と、舎人親王図像をお祀りしています。



本尊薬師如来と十二神将

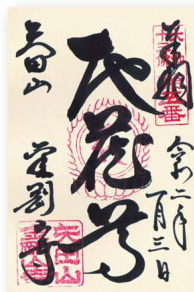


味噌なめ地藏

やた であら こんごうせんじ
11 矢田寺(金剛山寺) 大和郡山市矢田町3506

境内拝観自由 アジサイ園の開く毎年6/1~7/10は入山料500円
また6/1~6/30の本堂特別拝観料500円 時間9:30~16:30

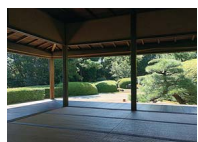
矢田丘陵の中央、矢田山の中腹にある寺院で、飛鳥時代に天武天皇の勅願により建立された古い歴史を持つお寺です。その後平安時代初めに満米上人により地藏菩薩像が安置され、地藏信仰の中心となりました。境内には約1万株のあじさいが植えられており花の時期には大変にぎわいます。



まつお であら
12 松尾寺 大和郡山市山田町683

境内拝観自由 時間9:00~16:00

矢田丘陵の南方、松尾山中腹にある寺院で奈良時代「日本書紀」を編纂した舎人親王が日本書紀の無事完成と自身の厄除け祈願のために建立しました。厄除けの参拝は「まつのさん詣り」と呼ばれ、今日も多くの信仰を集めます。舎人親王坐像、最古型の大黒天像、千手観音像トルソーなどの文化財やバラ園で知られています。



じこういん
14 慈光院 大和郡山市小泉町865

拝観料1,000円(抹茶接待を含む) 時間9:00~17:00

江戸時代初期、小泉藩主片桐貞昌(石州)が建立した臨済宗のお寺です。石州は四代將軍徳川家綱の茶湯師範を勤めたほどの茶人で、また作庭家としても有名です。境内は一つの茶席となるように造られており、350年以上の時を経た今も石州が茶の湯で人を招く時の演出を眼にすることができます。

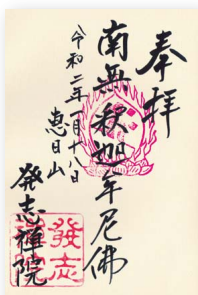


はっしげんいん
13 発志禅院 大和郡山市外川町128

境内拝観自由
 御朱印希望の時は電話にて予約のこと



歌ヶ崎廟 (本多忠常墓所)



郡山城主であった本多忠常(第2次本多家)の菩提所として、江戸時代中頃の1711年に開山された黄檗宗のお寺です。忠常の墓所「歌ヶ崎廟」は境内から北西へ200mほど離れた丘陵上にあります。また、境内の墓地には柳澤家家臣で文人画家として有名な柳沢里恭(柳里恭)の墓所もあります。

● **小泉城跡**

小泉城は、室町時代小泉氏(興福寺衆徒)の城郭として作られたのが始まりです。東に富雄川を臨む台地の先端部分は要害の地であり、江戸時代になると小泉藩片桐家の陣屋がおかれまして。今日も薙刀池・お庭池などが残ります。



こいずみじんじや
15 小泉神社 大和郡山市小泉町2333

境内拝観自由

かつては「南之御宮」呼ばれ、室町時代から当地の守護神として信仰されています。祭神は素戔鳴命と誉田別命です。表門は明治維新の際小泉城の城門を移築したものと伝えられます。毎年10月の秋祭には各地区のふとん太鼓が境内に集結し勇壮な練りまわしを行います。



大和郡山市全域



1km

大和郡山の御朱印ガイド

- 通年でいただける (書き置き式の時もあり)
- 電話で予約すればいただける
- 決まった日時だけいただける
- 近所の商家が御朱印を預かっている

※法事・神事等の都合で参拝や御朱印ができない時があります

大和郡山のお寺や神社には、駐車場が無いことが多く、また、道幅が狭く自動車の通行が非常に困難な道路もあります。楽しく寺社参拝していただくために、徒歩、自転車、公共交通の利用をお勧めします。

大和郡山市には、かつて郡山城、小泉城、筒井城の3つの城がありました。今日もそれぞれの地域に鉄道駅があり、人びとの地元愛は大きいようです。



すがたひめじんじゃ 16 菅田比賣神社

大和郡山市筒井町1440
境内拝観自由



祭神は伊豆能売神、^{いつ}「伊豆」とは「嚴」のことで穢れを清める女神です。かつては北に500mほどの丹後庄との境にありましたが、戦国時代に兵火で焼失し、後にこの地に遷座したと伝えられます。筒井城の中核部跡に鎮座し、境内東側には内堀跡が残ります。

● 筒井城跡

筒井城は、室町時代興福寺の衆徒(僧形の武士)として台頭した筒井家の居城で大和中最大級の平城、筒井順慶と宿敵松永久秀戦の地です。1580年順慶が郡山城に移ったため廃城となりましたが、城址には現在も堀や土塁が残ります。





めたじんじゃ
17 賣太神社 大和郡山市稗田町319

境内拝観自由

奈良時代712年、元明天皇に献上された日本最古の歴史書「古事記」の傳承者 稗田阿礼命ひえだのあれののみことをお祀りします。神社のある「稗田環濠集落」は、西側に古代の主要幹線道路「下ツ道」が通り、また鎌倉時代以降防衛や水利のため発達した環濠が今日も残る貴重な地域です。



こうみょういんだいしどう
18 光明院大師堂 大和郡山市番条町564

御朱印は100mほど南西にある中谷酒造(株)にて概ね8:00~17:00、日曜・祝日休み、接客中は対応できません

番条環濠集落内にかつてあった寺院「光明院」の大師堂で、現在は地元の「番条北大師講」によって護持されています。御朱印は中谷酒造にて。また、番条では毎年4月21日に弘法大師像を門屋や玄関に出開帳する「番条のお大師さん」があり、その日集落を一周すればミニ四国八十八ヶ所巡りができます。



中谷酒造

かくあんじ
19 額安寺 大和郡山市額田部寺町36

入山料100円 時間10:00~16:30
都合により入山休止の日があります

額安寺の前身は、飛鳥時代聖徳太子によって創建された熊凝精舎と言われます。鎌倉時代、西大寺(奈良市)や極楽寺(鎌倉市)を拠点に広く社会福祉事業を行ったことで有名な僧忍性は、ここ額安寺で得度しました。お寺の北にある忍性墓所の額安寺五輪塔は、地元では「鎌倉墓」と呼ばれます。



本尊十一面観世音菩薩



大和北部八十八ヶ所霊場

250年ほど前の明和6年(1769年)に郡山城下紺屋町の池田屋六兵衛によって開創され、現在は奈良県北部の大和郡山市、奈良市、生駒市など12の市と町にある95ヶ寺の巡礼になっています。無住寺が多いため「幻の霊場」と呼ばれた時期もありましたが、近年ガイドブックも刊行され巡礼をする人も少しずつ増えているようです。御朱印をいただく時はお寺の方に「大和北部八十八ヶ所霊場の御朱印」と伝えてください。

大和郡山市内には14の札所があります。

- ②0 第22番 賢聖院
- ① 第61番 春岳院
- ①2 第54番 松尾寺
- ①3 第64番 光明院大師堂
- ①1 第55番 矢田寺
- ②3 第65番 正福寺
- ①1 第56番 矢田寺観音堂
- ②4 第78番 地藏寺
- ⑧ 第58番 釋尊寺
- ①9 第87番 額安寺
- ②1 第59番 薬園寺
- ①4 番外霊場 慈光院

令和2年は日本書紀奏上 1300年記念の年

日本書紀は、日本で初めて国家事業として作られた歴史書で、飛鳥時代 天武天皇の命によって編纂が始められました。その後約40年間断続的に作成が続けられ、養老4年(720)天武天皇皇子の舎人親王が総裁となり全30巻が完成しました。令和2年(2020)は日本書紀が奏上されて1300年の記念の年にあたります。

舎人親王が、日本書紀の完成祈願と自身の厄除けのため建立した松尾寺では、日本で唯一の舎人親王坐像をお祀りしています。

2020年4月1日(水)～11月30日(月)公開



舎人親王坐像

大和郡山は奈良では数少ない 城下町です



郡山城跡

郡山城の歴史は、戦国時代終わり頃1580年大和の戦国大名 筒井順慶に始まります。1585年には豊臣秀長(秀吉弟)が、郡山に入部し本格的な城郭と城下町の建設を開始、豊臣政権のもとで天守をはじめとする城郭中枢部や約5.5kmの外堀に囲まれた城下町が完成しました。江戸時代に入ってから徳川家の譜代大名が藩主となり、大和国の政治経済の中心として栄えました。大和郡山には、城主と関係が深い寺社が多く、また黄檗宗や臨済宗の禅宗寺院が多いことも特徴です。

箱本十三町

豊臣秀長は、城下の東南に商工業者を集めて自治権や独占営業権を与え、強力な城下町振興策を進めました。これらの町は「箱本十三町」と呼ばれ、江戸時代の郡山藩主にも受け継がれました。

協賛



大和郡山御朱印マップは協賛・後援団体のご支援によって印刷・配布されています。



後援

一般社団法人

大和郡山市観光協会

大和郡山市商工会

公益財団法人

郡山城史跡・柳沢文庫保存会

筒井順慶顕彰会

大和郡山の散策にはこちらもご覧ください

大和郡山御朱印マップweb版

<http://www.nstudio.jp/syuinmap>



一般社団法人

大和郡山市観光協会ホームページ

<http://www.yk-kankou.jp>



大和郡山御朱印マップ 発行:大和郡山歴史同好会

発行日:令和2年(2020)年2月19日

PDF版のみ2020年9月15日小修正

このマップは「大和郡山市まちづくりアイデアサポート事業」の支援を受けて作られました。

歴史学の観点から大和郡山市都市計画課文化財保存活用係の監修を受けています。

掲載されている全ての寺院・神社の許可をいただいています。主な参考文献は<http://nstudio.jp/syuinmap/bunken/>に掲載しています。大和郡山御朱印マップの文章・写真・画像の二次使用・無断転写はお断りします。